

ミカン生育情報

千葉県
平成 31 年 1 月号

平成 30 年のまとめ

平成 30 年の気象

平成 30 年の月別気象を表 1 に示した。月平均気温は、平成 30 年 3 月～12 月の 10 か月で平年と同じか上回った。1 年間の平均気温は 16.5℃で平年及び前年より 0.9℃高かった。

降水量は平成 30 年 2 月、4 月、7 月～8 月及び 10 月の 6 か月で平年を下回った。1 年間の合計は 1,915mm で平年及び前年の 94%であった。

日照時間は平成 30 年 9 月、11 月及び 12 月を除く 9 か月で平年を上回った。1 年間の合計は 2,167 時間で平年の 112%、前年の 102%であった。

表 1 平成 30 年の気象（暖地園芸研究所）

年 月	平均気温 (°C)			降水量 (mm)			日照時間 (時間)		
	本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
H30 1	5.8	6.0	6.1	111	90	66	193	170	206
2	6.0	6.3	7.0	21	97	29	161	152	185
3	11.8	9.2	8.1	204	186	148	200	157	173
4	16.2	13.9	13.8	69	174	212	205	172	184
5	18.7	17.8	18.5	229	174	115	203	177	229
6	21.4	20.7	20.9	282	244	151	174	133	163
7	26.5	24.4	25.6	155	194	39	256	169	250
8	26.8	26.0	25.6	25	144	140	255	217	156
9	22.7	22.7	22.5	416	250	282	115	145	134
10	18.9	17.9	17.7	123	250	525	151	137	99
11	14.0	13.2	13.6	162	148	289	135	145	156
12	9.3	8.6	7.7	120	85	42	121	165	191
平均/合計	16.5	15.6	15.6	1,915	2,037	2,036	2,167	1,939	2,126

平成 30 年の樹及び果実の生育

平成 29 年は表年であったため、平成 30 年の着花量は少ない印象であった。暖地園芸研究所における平成 30 年の温州ミカンの発芽期は、「興津早生」が 4 月 1 日、「大津 4 号」は 4 月 6 日であった。「興津早生」は平年より 9 日、前年より 13 日早かった。「大津 4 号」は平年より 8 日、前年より 16 日早かった。開花盛期は、「興津早生」が 4 月 26 日、「大津 4 号」は 5 月 3 日であった。「興津早生」は平年より 17 日、前年より 20 日早かった。「大津 4 号」は平年より 15 日、前年より 21 日早かった。

3 調査地（表 3 - 注 2）の収穫期の横径、縦径、一果重の平均値は、3 品種共に平年より大きかった。着色は、3 品種共に平年より進んでいた。糖度は、「興津早生」で平年より高く、「大津 4 号」及び「青島温州」で平年並みであった。酸度は、3 品種共に平年より低かった。

表2 発芽期及び開花期（暖地園芸研究所）

種類	発芽期（月・日）			開花期（月・日）								
	本年	平年	前年	始期			盛期			終期		
				本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
興津早生	4.1	4.10	4.14	4.26	5.9	5.12	4.26	5.13	5.16	5.1	5.18	5.22
大津4号	4.6	4.14	4.22	5.1	5.13	5.14	5.3	5.18	5.24	5.8	5.23	5.30

注1) 平年：平成5年から29年の25年間の平均値

表3 平成30年の果実品質

品 種	横 径 (cm)			縦 径 (cm)			一果重 (g)		
	本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
興津早生	6.7	6.5	6.3	5.2	5.0	5.0	140.3	114.6	106.1
大津4号	7.9	7.5	7.6	5.1	5.0	4.9	167.3	147.0	149.4
青島温州	7.7	7.4	7.3	5.0	5.0	4.8	151.7	140.8	135.4

品 種	着色程度			糖 度 (%)			酸 度 (%)			甘味比			果肉歩合 (%)		
	本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
興津早生	7.7	7.1	7.3	9.9	9.4	9.6	0.82	1.06	0.91	12.1	9.2	10.7	82.9	81.7	83.1
大津4号	9.7	8.1	7.7	10.3	10.1	10.0	0.74	0.90	0.96	14.1	11.4	10.4	76.5	75.4	76.5
青島温州	9.1	7.7	8.1	9.5	9.5	9.2	0.73	0.92	0.87	12.9	10.5	10.7	74.9	74.9	74.1

注1) 平年値は平成10～29年の平均値

2) 南房総市、三芳地区、千倉地区及び暖地園研の3園地の平均値

3) 甘味比＝糖度／酸度

4) 果肉歩合＝果肉重／1果重×100

5) 収穫日は「興津早生」：11月1日、「大津4号」及び「青島温州」：12月1日

病害虫、生理障害の発生

平成30年の果樹カメムシ類の発生は、6月頃まで多発した平成28年よりも多い個体数で推移していたが、7月から個体数が減少した。暖地園芸研究所内では、温州ミカンでの加害は散見される程度であった。少発生の翌年である平成31年は発生が多くなると予想されるので、園への飛来に警戒する。

黒点病、果実腐敗及びミカンハダニの発生は少ない傾向であった。また、サビダニによる果実の被害も見られた。

昨年に続き本年度も台風害により、落葉・落果、果実の着色不良や、糖度ののりが悪く、減酸の遅い状態になった樹もあった。

浮皮果の発生は「大津4号」及び「青島温州」共に平成29年よりも多い傾向であった。

1月以降の栽培管理

寒害・寒風害対策

寒さに弱いとされる幼木は、菰や被覆資材を活用し、重点的に寒害・寒風害対策をする。台風害に遭遇し、落葉や新梢の発生があった樹も、寒さに弱くなっているため、被覆資材を活用し防寒対策をする。

土づくり・施肥

高品質のミカンを生産するため、土壌診断などで定期的に土壌の物理性及び化学性を把握し、1～2月に堆肥等有機物及び3月下旬に春肥の施用を行う。

微量元素の欠乏・過剰で生じる生理障害が発生している樹に関しては、土壌のpH調整など適宜行う。

間伐・せん定

せん定の前に、密植園では間伐を実施する。間伐することで、作業性の向上、高品質果実生産につながる樹形への整枝ができるようになる。

平成31年は表年と予想されるため、着花量が多く、新梢の発生が少ない樹が多くなると予想される。着花が多いと予想される樹では、切り戻しせん定を取り入れ、新梢の発生を促す。ただし、樹勢が強い品種・系統では、切り戻しせん定を行うと強い枝が発生する恐れがあるため、間引きせん定中心にする。

病虫害の防除

せん定時には黒点病やそうか病、かいよう病の防除のため、枯れ枝や罹病枝葉を除去し、園外で処分し、園内の菌密度を下げる。そうか病は発芽した芽が1cm程度に伸びた時期（4月中旬）及び落花直後（5月下旬）に薬剤防除を行う。かいよう病の防除は発芽前と5月中旬に行う。銅水和剤の散布は、農薬のラベルをよく読み、他の農薬との散布時期の調整を行う。

カイガラムシ類、ダニ類の防除のため、発芽前までにマシン油乳剤の散布を行う。ただし、樹勢の弱い樹への散布は避ける。また、厳冬期は落葉する危険があるため散布を避ける。

防除に際しては、千葉県農作物病虫害雑草防除指針を参考に行う。

なお、表の数値は表示単位未満を四捨五入したため、合計値と内訳の計は一致しない場合があります。

《 生育情報の問合せ先 》

千葉県農林総合研究センター 暖地園芸研究所 特産果樹研究室 電話 0470-22-2961

※果樹の生育情報は「ちばの農林水産業」の「生育情報」でも御覧いただけます。

<http://www.pref.chiba.lg.jp/seisan/seiiku/index.html>